

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	高周波回路応用技術特論		
英文授業科目名	Applied Technologies of High Frequency Circuits		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電子工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	電子工学専攻		
担当教官名	和田 光司		
居室	西2-210		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>現在のワイヤレス通信技術の著しい発展に伴い、マイクロ波・ミリ波などの高い周波数帯で用いられる各種受動回路の開発・技術動向が注目されている。本特論では、マイクロ波・ミリ波帯で用いられる特に各種伝送線路およびそれを用いた受動回路に着目し、それらの設計法および応用技術について解説する。さらに、国内外での研究成果、技術開発例などを盛り込んで高周波受動回路技術の最新動向について紹介する予定である。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>基本的になし。</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>できれば博士前期課程科目のマイクロ波回路設計特論を履修しておくことが望ましいが受講していなくても問題はない。</p>

【教科書等】
<p>[1]GHz帯時代の高周波回路設計：市川裕一、青木勝(CQ出版社) [2]実用マイクロ波技術講座(理論と実際)第1巻～7巻：小西良弘(日刊工業新聞社) [3]マイクロウェーブ技術入門講座(基礎編)：森栄二(CQ出版社)</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末試験は行わない。数回のレポート(内容は易しい)とプレゼン(1回)で総合評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

随時受け付ける。但し、出張などで研究室に不在のときが多いので事前にアポイントをとられた方が確実です。

【学生へのメッセージ】

授業の中で、教科書にあまり記載されていない実際の高周波回路の写真や、場合によっては実物を持参して紹介する。折角の機会なので興味をもって受講していただければ有難い。

【その他】